

## 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会

### 主な Q & A

Q1：海外カードの利用件数が前年同期比 60%と伸長しているが、特別なプロモーション等を実施したのか。

A1：現状、大規模なプロモーションは行っていない。今後は「日本に行ったらセブン銀行、セブン-イレブンに行ってお金をおろしましょう」というPRを外国の方が日本に来る前、空港に着いた時、あるいはホテルに着いた時と色々な方法・タイミングで伝えていく必要がある。

訪日外国人数は大きく伸長しているが、まだまだPR不足で当社ATMで海外カードがご利用できる事を御存知でない方も多し。積極的にPRを実施し海外カード利用件数を伸長させていきたい。

Q2：新生銀行店舗でのATM運営受託による収益インパクトは。

ATM運営受託が他金融機関にも拡大していく動きはあるのか。

A2：コストの詳細は申し上げる事が出来ないが、当社として十分利益が出る形で受託していると思っていただいてもよい。

新生銀行でのATM設置事例を活かして他金融機関にも積極的にセールスを行ってきたいと考えているが、今のところ具体的なお話があるということはない。

Q3：今回新たに作られた子会社のバンク・ビジネスファクトリーで、様々な事務受託を行うとあるが、具体的にはどんな事務が対象になるのか。

A3：一番単純なのはエントリー業務、例えば口座照会等である。

お客さまから一旦書類をお預かりし処理する様な事務、比較的時間的な余裕のある事務がバンク・ビジネスファクトリーのスキームに適している。

事務業務を効率化した金融機関は多く、この様な事務受託のチャンスは大きいと考えている。

Q4：米国セブン-イレブンへのATM設置の現状について教えていただきたい。

A4：具体的な交渉の段階には入っていない。本件は慎重に進めていきたいと考えている。

以上